

(仮称) 対馬市市民基本条例検討に係る
アンケート調査結果



平成23年3月
(仮称) 対馬市市民基本条例検討委員会

1. アンケートの目的

(1) 第2回、第3回（仮称）対馬市市民基本条例検討委員会において、「これからの対馬のために大切にしたいこと」「市民が主役となるために何が必要でしょうか」と題し、ワークショップを開催し、意見のとりまとめを行ったが、同様の内容について、意見聴取する。

(2) （仮称）対馬市市民基本条例に盛り込む項目に関し、意見聴取する。

2. 調査方法

(1) 市民アンケート調査

- ・ 対馬市内に居住する18歳以上の男女（H22.3.31現在）
- ・ 対馬市の住民基本台帳から2,000人を無作為に抽出

(2) 対馬市職員アンケート調査（デスクネット（職員回覧板）に掲載）

(3) 高校生アンケート調査（高校へ依頼）

3. 調査期間

(1) 平成23年1月下旬～2月

回収数

- | | | |
|---------------|---|------------|
| 1. 市民アンケート調査 | ： | 550通、27.5% |
| 2. 市職員アンケート調査 | ： | 131通 |
| 3. 高校生アンケート調査 | ： | 790通 |

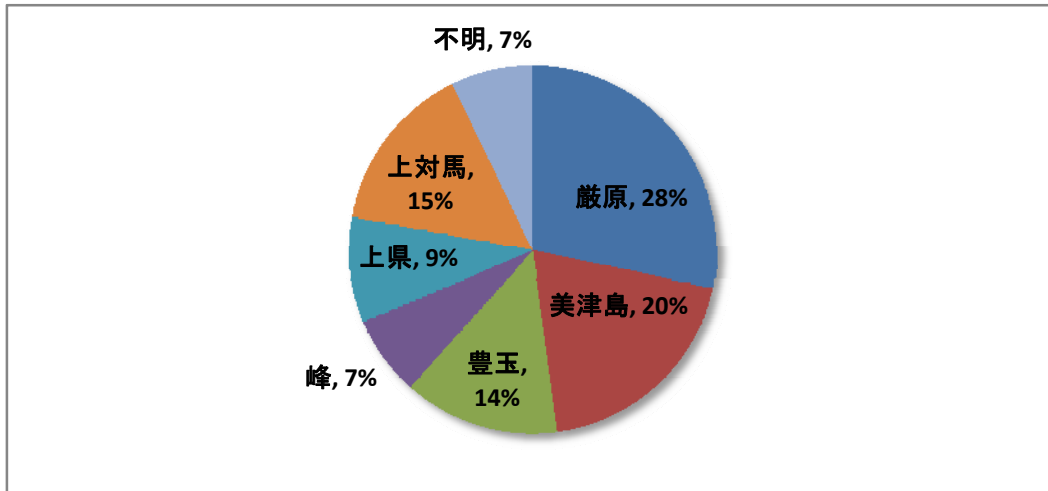
合 計		1,471通
-----	--	--------

市民アンケート調査結果 (市民・市職員)

(仮称)対馬市市民基本条例検討に関するアンケート調査集計表（市民・市職員）681通

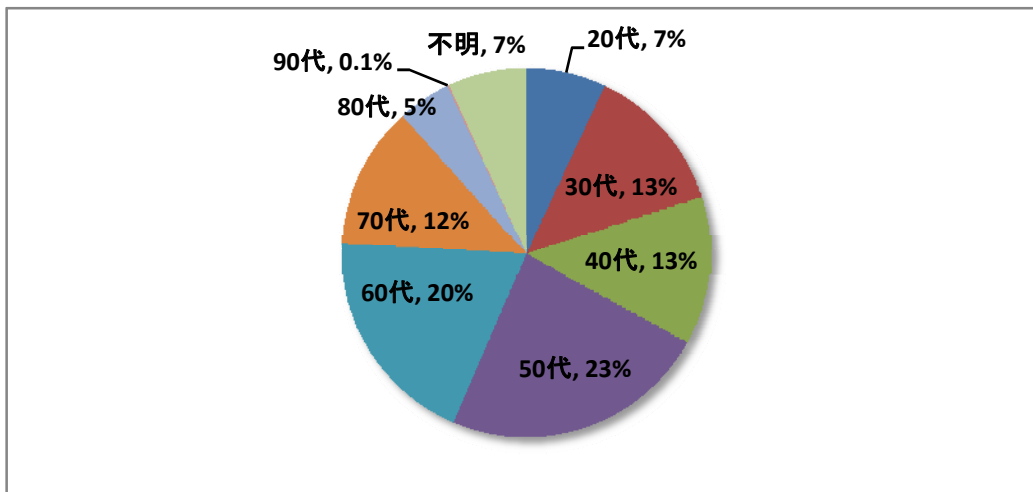
町別

厳原	美津島	豊玉	峰	上県	上対馬	不明
28%	20%	14%	7%	9%	15%	7%



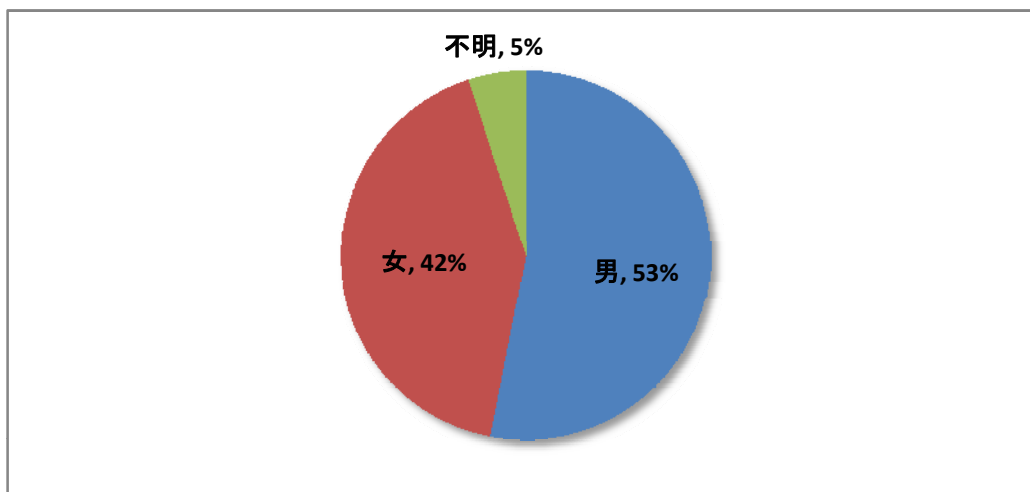
年齢別

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明
7%	13%	13%	23%	20%	12%	5%	0.1%	7%



性別

男	女	不明
53%	42%	5%

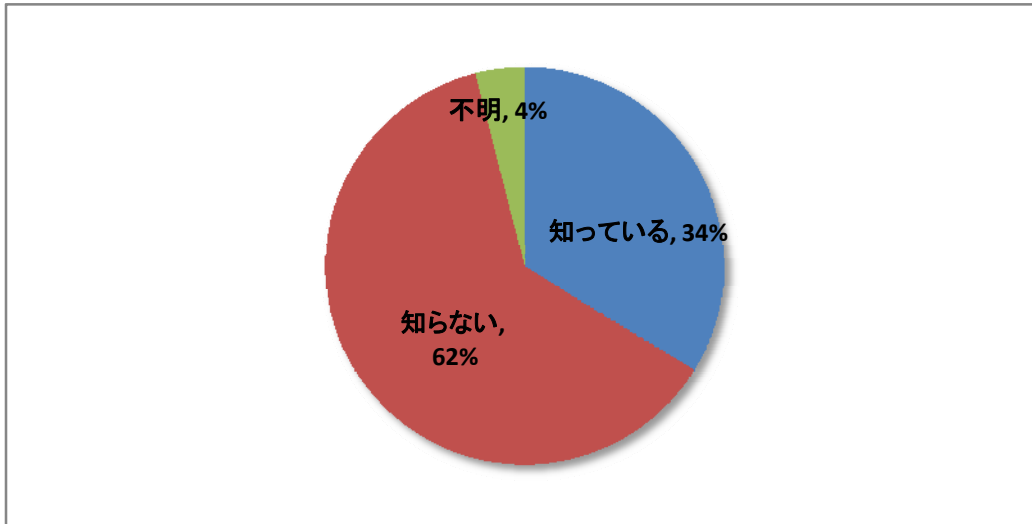


問 1

あなたは、対馬市において（仮称）対馬市市民基本条例の制定に向けて取り組んでいることを知っていますか？

○知っている方が34%、知らない方が62%とまだまだ認知度が低いため、更なる情報発信や意見を反映する手法を検討していく必要があります。

知っている	知らない	不明
34%	62%	4%

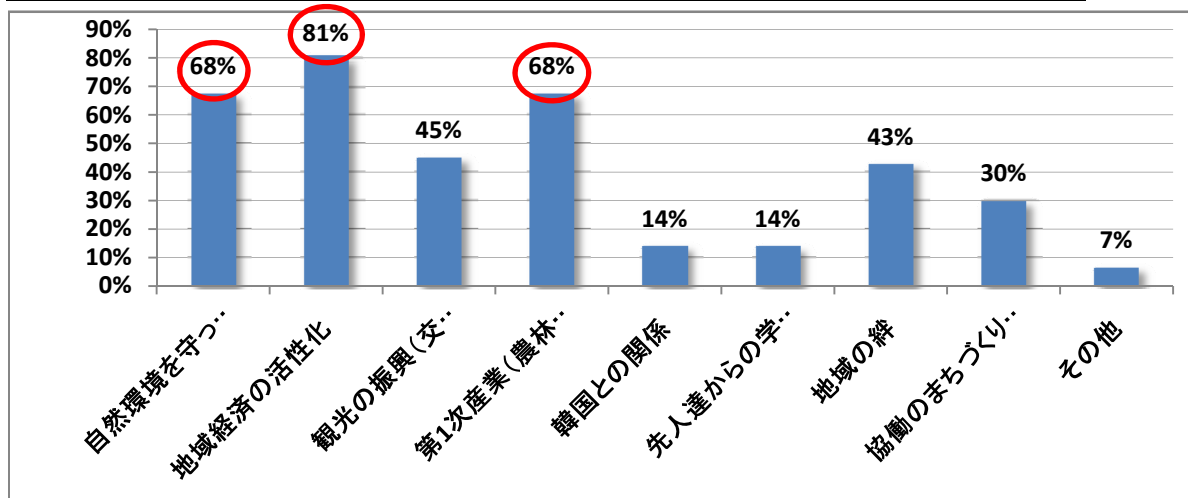


問 2

あなたは、これからの対馬のために大切にしたいことは、どんなことだと思いますか？（複数回答可）

○地域経済の活性化が81%と一番高く、次いで第1次産業の振興、自然環境を守っていくことが68%、観光の振興が45%、地域の絆が43%、協働のまちづくりが30%、韓国との関係、先人達からの学びが14%となっています。

自然環境を守っていくこと	地域経済の活性化	観光の振興（交流人口拡大）	第1次産業（農林水産業）の振興	韓国との関係	先人達からの学び（雨森 芳洲先生・陶山 訥庵先生）	地域の絆	協働のまちづくりの推進（地域マネージャー制度）	その他
68%	81%	45%	68%	14%	14%	43%	30%	7%



その他の意見

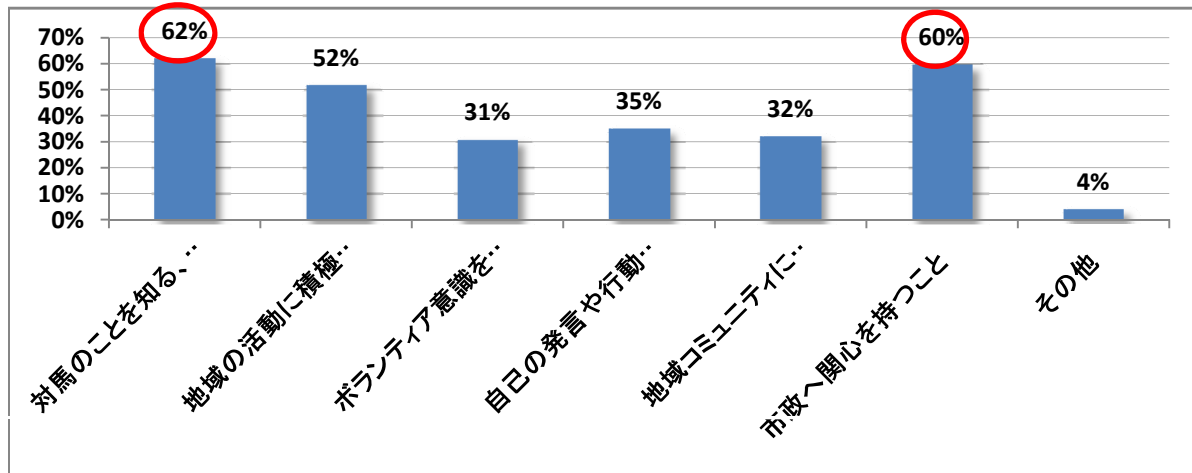
1. 教育の充実
2. 地産地消の推進
3. 人材育成
4. 対馬の風土、文化
5. 就業場所

問 3

あなたは、市民が主役のまちづくりを進めていくため自分自身に何が必要だと思いますか？

〇対馬のことを知る、好きになることが62%と一番高く、次いで市政へ関心を持つことが60%、地域の活動に積極的に参加することが52%、自己の発言や行動に責任を持つことが35%、地域コミュニティに積極的に参加することが32%、ボランティア意識を持つことが31%となっています。

対馬のことを知る、好きになること	地域の活動に積極的に参加すること	ボランティア意識を持つこと	自己の発言や行動に責任を持つこと	地域コミュニティに積極的に参加すること	市政へ関心を持つこと	その他
62%	52%	31%	35%	32%	60%	4%



その他の意見

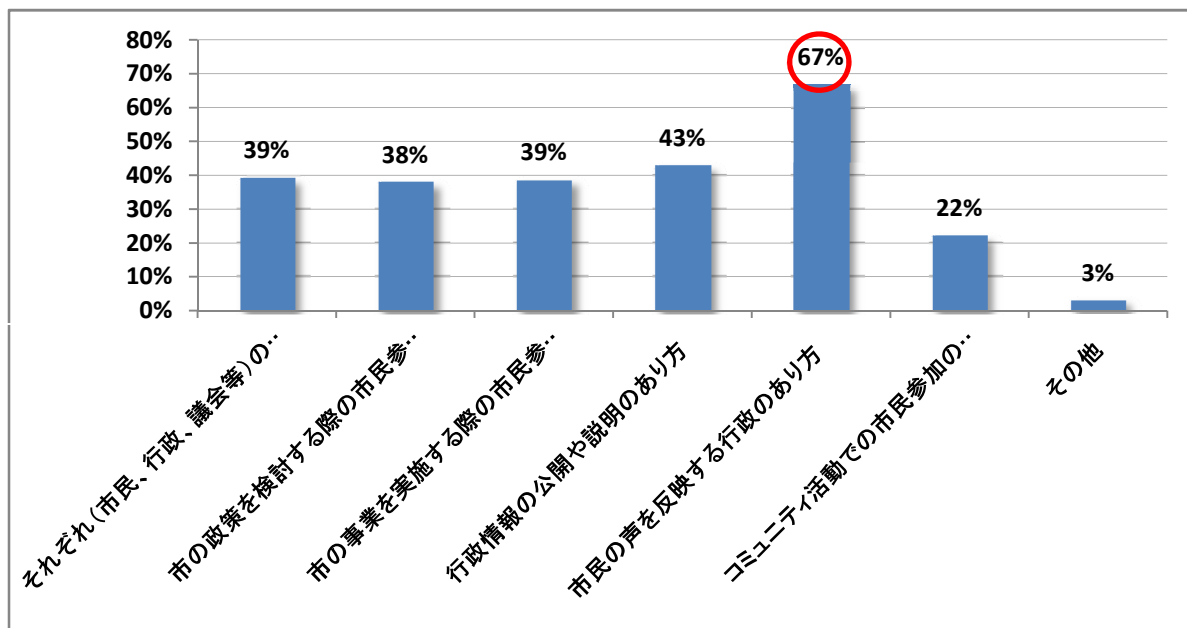
1. 対馬の常識（田舎の甘え）と都会、世間の常識のちがいを自覚すること
2. 有言実行。積極的参加
3. 健康維持管理
4. 老後は対馬へのUターン
5. みんなが大胆かつ足並みを揃えること
6. 自由な発想を持つこと。思い込みを捨てること
7. まちづくりにおけるいろんな情報のキャッチ

問 4

あなたは市民が主役のまちづくりを進めていくために、どのような事柄を検討すべきだと思いますか？（複数回答可）

○市民の声を反映する行政のあり方が67%と一番高く、次いで行政情報の公開や説明のあり方が43%、それぞれ（市民、行政、議会等）の役割や責務について、市の事業を実施する際の市民参加のあり方についてが39%、市の政策を検討する際の市民参加のあり方が38%、コミュニティ活動での市民参加のあり方が22%となっています。

それぞれ（市民、行政、議会等）の役割や責務について	市の政策を検討する際の市民参加のあり方	市の事業を実施する際の市民参加のあり方	行政情報の公開や説明のあり方	市民の声を反映する行政のあり方	コミュニティ活動での市民参加のあり方	その他
39%	38%	39%	43%	67%	22%	3%



その他の意見

1. 行事やグループ活動に市民の参加を
2. 人任せにならない地域コミュニティができれば・・・
3. 市民・行政・議員自身の啓発、スキル・レベルアップのきっかけづくり
4. 条例で住民投票で難題を解決してもらいたい
5. 市民の声に耳を傾ける事が大事

問 5

あなたは対馬市がもっと良くなるためにどんなことが必要だと思いますか？（抜粋意見）

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ・市民1人1人が行政、議会、選挙などに関心をもってほしい。意識向上。意識改革。未成年者は別にしても選挙権をもったら選挙に行くこと。100%に近い投票率であってほしい。誰が市長になってもかわらないとかそういう考えはダメ。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の意識改革。（ゴミのポイ捨て）
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が交流を持つこと。
	<ul style="list-style-type: none"> ・役所まかせの市民の意識改革。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が笑顔で働き、あいさつし合うこと。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のモラルやメンタリティーの向上。（交通ルールを守らない。ゴミのポイ捨て。）
	<ul style="list-style-type: none"> ・「他人まかせ」にしない「市民度」をあげること。「自分たちのことは自分でやる」意識の醸成。そのための地域マネージャー制度であると思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が、集落自治を自主的に活動することで、貧しくても生きがいのある、活性化した集落が形成されると思う。収入が乏しくても年金受給だけの生活でも、集落活動の中で生きがいを見いだせれば（レクだけでなく収益活動等）、対馬の集落内で満足できる生活が十分出来るのではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民1人1人が、持てる力の一部でよいから生業とは違う分野に投入することを考えるべき時にきていると思う。例えば、違法駐車をなくし、道路沿いの雑草やゴミは近隣者の力をもって処理し、清潔な町並みを保持することは、市民が気持ちよく生活できる基本であるし、こういった状況を目にする来島者等の受け止め方は言うまでもない。厳しい経済環境下であり、市民力が問われている時代と言えるが、今こそ市民1人ひとりの力が輝く時ではないかと思う。背筋をシャキッと伸ばして物事に立ち向かう姿勢を保ちたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が地域活動及び市政（行政）に参加する意識の改革が大切である。地域主権の推進は、行政の役割は当然であるが、まず市民自らの意識改革が必要である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・何をやるにしても、市民のやる気、意欲を出させるようにすることが必要。今後は、行政主導から官民共同・民間主導へと変えていかないと後で何も残らない。
<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人が思いやりの心を持つこと 優しさがなければ何も良いことは生まれない。行事を増やしてみてもどうか。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・まず、島民が自分の住んでいる島の良いところを自覚しないとイケない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民がそれぞれに自分の健康や暮らしを良くするように気をつけること。誰かに頼るだけでなく、誰かの役に立てるようにまずは自分 	

市 民	を良くすること。人の迷惑とならないように心がけること。
	・対馬に生きる自分自身を好きになること。
	・対馬のことをもっと勉強すること。
	・対馬人としての誇りを持つ。
	・個人意識の改革：郷土を愛する。郷土を知る。人と人との絆を大切に にする。
	・足の引っ張り合いをやめる。思いやり。
	・地域づくり、地域再生に対し、住民自身は自分には全く関係がない と考えている。そうではなくて、自分にとって身近な問題であるこ とを感じてもらい、他人事ではなく、自分たちの問題としてどうや って自主性を持って取り組んでもらうか。そのためには、鹿児島 のやねだんが取り組んでいるような、地域の絆の再生がまず必要であ り、「なぜ？」とか「もっと知りたい!」「それだったら、協力も するし汗もかこう!」という感覚と行動を住民に持ってもらう必要 がある。そのためには、財政や情報の開示・共有も大事である。
	・一人一人が、自分の身の廻りで起こることに対して、関わり合いを 持つな貪欲になること。いい意味で、みんなが『対馬バカ』になる こと。とにかく、集まって、話をしてみる。情報を出し合うこ と。
	・島民の閉鎖的な価値観の見直し。
	・人のあら探しをしないで対馬の悪いところを探す。
	・公共意識、社会人としての見識、内地（本土）と同じ常識を身に つける事。人の業績を妬まず、讃え、自己研鑽の糧とすること。改革 を目指す活動をしている人が必ず言う言葉に「対馬では正論をはく 人間が寄ってたかってつぶされる」というのがある。
	・どうやっていいのかわからないが無関心をなくすことが必要だ と思う。
	・対馬市が誕生して約7年になるが、住民の多くに旧町意識が残さ れていると思う。対馬北部、旧〇〇町という枠組みではなく、対馬 市の住民という意識を持つことが大事。
	・対馬人である誇りを忘れず、活力のある島でありたい。
	・対馬市民の他人という考え型。だれかがするだろうなどの考え方 では何も始まらないと思う。何事も無関心人間ばかりの市だと思 う。
・今の世の中お互いに協力助け合うことが少なくなりつつあるよ うに感じる。	
・現在の島民の意識改革。	
議 会	・市議会議員のボランティア化。
	・人口減に伴う市議会議員の望ましい定員数。
	・対馬の為じゃなく自分の為に議員になっている人が多くいると思 う。もっと地域の事を考えた議員になってもらいたい。

議 会	・議会は中身の濃い討論をしてほしい。市長、議員はそれ相当の報酬を受けているのだから対馬の将来を考えて欲しい。
	・議員のレベルアップ。
	・議員の活動がわからない。
市 長	・市長のリーダーシップ。やればできる雰囲気づくり。明確なビジョン。
	・対馬市長がもっとこの対馬について、どうしたら島が良くなるか考えることが大切。
	・市長のリーダーシップ。行政職員の危機意識。地域マネージャー制度は無意味。地域協議会を設置すべき。
	・市長を補佐できる専門家を配置。
職 員	・市に優秀で熱心な職員を増やす。やる気のない人にはやめてもらう。新しいことに取り組む人を応援するような風土を作る。（今は、出る杭が打たれてしまう）
	・市役所職員も意識改革がまだまだ必要で危機意識が低い。島外の厳しい、新しい空気を体感させる必要がある。
	・職員が積極的に各地区に出向いて市民の声を聞くこと。
	・市民と市職員が一つになること。地域マネージャーさんからも号令をかけてほしい。
	・市職員も市財政が厳しい事を自覚して人員や給与を考え直すべき。
	・職員給与の削減。
	・市の職員の対応が良くなった。
	・行政職員が率先してボランティア。
	・対馬が市になってにぎやかな町とさびれてしまった町がはっきりした感じがする。同時に各町の活性化センターの職員が減り、異動で知らない職員の方が窓口で対応され、ますます市役所が入りにくいところになっているのではないかと思う。これから高齢化になる人が増え、直接住民と関わる窓口は、地元の職員がいた方が住民にとって訪ねやすいのではないかと思う。今は役所を訪れて「こんにちは」「お元気ですか」「今日は寒いですね」など言葉を交わすような雰囲気がない。何よりもまず住民が気軽に参加できる対馬市であり、職員であることではと思う。
	・行政を動かそうと思う。今のやり方は評価できるが、市民に届いていないというか聞いてないように思う。「誰かがするやろう」ではなく「俺がせな」と思わせる。
	・阿久根市や名古屋市のことが大きく報道され、公務員を責めればいいのだという気運だけが高まる中で、いかにして市民と同じ目線（行政は市民の目線で、市民は行政の目線にそれぞれが近づく）で活動できるようにするか大変なことだが、地道にまた根気強くやっていけば、未来は開けると思う。

職 員	・役所の人は人として良いこと悪いことを考えて欲しい。
	・机に座りお茶を飲んでいる姿を見るとがっかりする。
	・部長、課長のメールアドレスは、市から支給されたものであり、積極的に公開し、市民の意見を聞くべき。各区長にパソコンを貸与する。広域人事で誰がどこにいるかわからない。
	・役所にしろ病院にしろ、そこで働く方の接遇から始めるべき。
	・対馬には良いもの「自然、歴史、食べ物など」がたくさんあります。もっとみんなが紹介したり、自慢しなければいけないと思う。また、みんなが対馬のために行動しなくてはいけないと思う。地域マネージャーも地域で格差が目立ってきているので担当以外の地区の活動や会議に出席してみることも必要と思う。また、対馬市職員が対馬の良いところの紹介が良くできないことが解りましたので魅力が紹介できるように勉強し、「対馬が好きです」と胸を張って言えるようになってもらいたい。
行政運営	・若者に集まってもらう場をつくり色々な意見を出してもらおう。
	・より多くの意見を反映できるシステムづくり。（指名制によるラウンドダムに選定した市民による意見交換会）
	・市内のどんな事に対しても自分のことと受け止め考え活動することが大切だと思う。地域マネージャー制度なんかなくても、対馬のために垣根のない意見交換や取組があってしかるべき。このアンケートで何をするつもりか？何がわかるのか？
	・「市民が主役」は、良いように聞こえるが、「市が行政を市民に丸投げした」と解釈する方もいると思う。さらに、地域マネージャー制度を活用しても市民全員の意見を100%反映させる事は物理的に無理なので、結局は地区役員との話になり「市民が主役」と言いがたいと思う。（役員とその地区の方々との温度差）。まずは市民の声を収集する方法を検討した方がいいと思う。
	・市民の意見が反映されやすいこと。市役所内の連携を図ること。
	・地域によっては不公平な所が市政にはあると思う。市民の声を聞いてほしい。
	・行政の拠点施設を出来るだけ中央へ。対馬市全体が良くなるためには、各地域が良くならなければならないと思う。では、地域を良くするためには、何をどうすればいいのか、各地域・各地区が、それぞれの地域に合った目的・方向性を共有し、地域住民が一体となって目的に向かって取り組んでいく、また、同じ目的・方向性を持った地域同士の交流会・意見交換会を実施すれば1地域では気づかなかった新たな取組みが、発見出来ると思う。
	・公用車を軽自動車に変えたらどうか。
	・財政の健全化を進めること。
	・市民税の減税。

行政運営	・自分は市民が良くなるためには、税金が安くなること。税金を安くして市民の心が健康になれば何でもできると思う。
	・役所の経費節減。（エアコン）
	・公共施設の無駄をなくす。
	・財政に余裕のある対馬市。
	・無駄な者にお金を使わないでほしい。対馬市 1 人当たりの借金額を減らす。
	・適材適所の人事。能力に応じた人事。
	・市民の声をもっと取り入れてほしい。市役所の中に入りにくい。
	・市が市民のために積極的に動くこと。
	・地域マネージャー制度は良い制度と思うが、果たして市政に活かされているか疑問に思う。マネージャーの教育が必要ではないかと思う。
	・地域マネージャー制度は知っているが、いまいち何をしているかが見えてこない。1 回説明があっただけで何も無い。
	・人口を食い止める施策。地域マネージャーの活躍に期待する。
	・地域マネージャーが誰なのかわからない。活動しているのにも疑問。最初の区長会にしか顔を見せてないのでは？
	・地域マネージャー制度での会合で意見も出したが、その後どうなっているのかわからない。出来るものは少しでも前に進んでいただきたい。
	・地域マネージャー制度の話し合いは聞いたことがあるが地域での活動や話し合いが実施されているのか知るすべがない。
	・市民が元気になる政策を行う。市民協働のまちづくりでは市は良くならない。地域マネージャー制度が役に立っていない。行政が頭で市民が参加する方がやりやすい。
	・行政及び市民が対馬の現状を把握し、対馬を元気にするには、どうしたら良いかを話し合うこと。今まで各種協議会や地域マネージャー制度などいろいろ努力をしてくれているが結果があまり出ていない。簡単に解決する問題ではないので、これからもいろいろ模索しながら諦めず取り組むしかない。
	・上に立つ者の考え方を一番に変えること。対馬市の為にとっているが逆にダメにしている。対馬市は都会に比べかなり遅れている。市民のためと言うが市民を困らせている事が多い。
	・公共工事を多数発注すること。
・中央の峰町に行政機関、その他人々の集まる建物を作り、島のまん中を発展させるのが対馬が生き残れる道だと思う。	
・役所機能を 1 箇所にとめる。	
・市の本庁機能が、厳原、豊玉、上県、上対馬に分散されているので、峰か豊玉に集約すること。	

行政運営	・公的な会議に決まった経歴を持つ人が多い。
	・現在の対馬市の予算が今後上がるとは考えられないので、国から補助が出るような施設の建築などを考えてほしい。
	・市長、議員、職員が特権意識を持たず市民の目線に立った施策政策をおこなうこと。税金の無駄遣いをなくすこと。
	・市長のリーダーシップ。行政職員の危機意識。地域マネージャー制度は無意味。地域協議会を設置すべき。
	・市民・行政・議会それぞれが私利私欲を離れ、対馬のために行動する事が望ましいと思う。対馬の人は自分の事しか考えない心の狭い所があるので・・・
	・市民、行政、議会を構成するメンバーがそれぞれの分をわきまえて行動することが基本だと思う。
	・市民と行政の連携の強さ。市議の教養の高さ。情報収集とその分析、実行。
	・行政の手続き等の簡略化（医療保険等の払い戻し手続き等の簡略化）
市民参加	・市民が色々な催しに参加すること。
	・多くの市民が、市の施策に対し関心を持ち、積極的に参加すること。
	・一人一人が対馬の事をもっと大切に思う気持ちが大事。各行事、イベント等をどんどん増やし対馬市が活性化されれば良いと思う。（村おこし）
	・対馬現状と照らし合わせ、5年先10年先を想像しながら対馬が一つとなるように諦めないこと。市からどんなことをして戴くことを期待するのではなくて、個人として地域や市にどんなお手伝い出来るのかを考える必要がある。
	・市民全員が何にでも関心を持ち積極的に物事に参加していくこと。自分がやらなくても誰かがやるという考えを持たないことだと思う。
	・対馬に残っている若者が率先して、地域の行事や催し事に参加し、盛り上げること。
情報共有	・美しいまちづくり。お互いに誇れるまちづくり。道路沿いに缶ビール、ジュース袋、その他いろいろのものが捨てられている。塵を拾っているが、またすぐ散乱している。観光客に見せられる姿ではなく、はずかしい。1人1人が気をつけると（自覚する）今よりは良くなると思うが？市の取組（具体的な）を期待している。私も参加して役立ちたい。
	・CATVの有効活用。

情報共有	・地方公共団体の仕組み、市民が直接選挙し、長や議会議員を選び、市民が直接地方自治に参加している住民自治の体制を、市民に対してCATV等で解りやすく解説し、放送すれば住民一人一人の意志が向上し対馬の為になっていくのではないか。
	・行政情報の公開や説明のあり方を検討すること。
	・ボランティアに期待しすぎではないか。もっと市民の声を聞くとともに説明することが必要。
	・市の政策説明には最低上下2箇所設定すること。
	・行政情報の公開や市民の声を反映させる。(CATVの活用)
	・市内の各種グループ・団体等の活動を広く誰でもわかる方法により、公表し、参加を呼びかける。
まちづくり	・レジャー施設がない。自然だけでは人は集まらない。ショッピングセンターの大型化。
	・カジノ特区による島外からの呼び込み。
	・福祉に力を入れすぎ。
	・海釣り公園の設置。
住みやすい・安心・安全なまちづくり	・現在病院建て直しの件では良いことだと思うが、外観もいいが、福岡まで行かなくても済むような病院であって欲しいと思う。設備の整った病院へまた先生も優秀な先生をお願いしたい。
	・適切な場所への病院配置。
	・優秀な医師の確保。
	・対馬で暮らしていきたいと思えるような魅力ある対馬であることと安定した生活ができるような収入を得られる仕事があること。
	・安心して暮らせるまちづくり。
	・生活保護、母子家庭などの補助を増やさないように。
	・対馬には保護世帯が多すぎる。自立を促す努力が必要。
	・誰も心配なくそれなりの生活ができるように、病気になって明日からどうしようか考える事を軽くできるように。低所得者用の家賃の安い住宅(長屋風)をたてて欲しい。家賃と光熱水費、保険税を払ったら何も残らない。
	・上対馬病院を続けてもらいたい。
	・お年寄り、子どもが住みやすい町を目指してほしい。(病院、子どもの遊べる場所の確保)
	・市民生活の安全・改善・向上。(公共事業の整備や島外航路の改善や病院建設問題など)
	・お年寄りや子供達が安心して暮らせるための医療の充実。
	・生活しやすい環境の整備。保育所や幼稚園、病院、公園などが利用しやすいこと。
	・今の対馬市に全く魅力を感じない・・・対馬に就職して後悔している・・・このような若い世代を増やさない為にも、もっと活気ある

住みやすい・安心・安全なまちづくり	対馬市、若者の住みやすい対馬市にしてほしい。
	・老人ホーム等に安く早く入居できるようにしてほしい。
	・老人施設の整備。
	・市営住宅の建設。（又は民間アパート建設時に補助金交付）
	・子ども達の過ごしやすいもっと遊び場を増やしてあげたい。子どもから大人まで何より過ごしやすい町づくり。
	・高齢化が著しく行政のサポートが必要である。
	・今や少子高齢化と叫ばれる中、対馬市として特に少子対策に目を向けてほしい。例えば、保育所入園料の適正化、幼稚園からの義務教育経費の削減等、子供の産みやすい環境づくり、地域づくりを願いたい。対馬市で子供を産み、義務教育までの生活とってた人も、対馬のすばらしさを知り、永住に繋がると考えられる。
	・少子化対策。
	・子どもが病氣した時でもきちんと休める職場。
	・老人ばかり大切にせず若い人を大切にする。
	・若者の「定住出来る」、「住みたくなる」環境づくり。
	・若い世代、子育て世代に対して、何かしらの支援。
	・若い人が対馬に住みたい離れたくないと思うような町にすること。
	・Ｉターン者の受入。
	・厳原町ばかりイベントをしないで上の方でもやって欲しい。映画を見たくても見れない。
	・婚活イベント。
	・ファミリー向けのイベント。
	・市民が行きたいと思うような場所や、イベントの開催。
	・国道の美化推進が大切と思う。夏には草、児童の歩道も危険箇所が多いので早急に点検が必要。
	・イノシシ・鹿対策を早急にしてほしい。
・イノシシ・鹿の駆除。（畑が荒らされ安心して農作物が作れない）	
教育・人材育成	・教育の充実。小中学校を適正な規模にするため統廃合を積極的に進める。頑張っている教員にやりがいを持ってもらう。対馬ケーブルテレビを活用して学力向上のための放映をする。
	・高校に介護保育士科の設置。
	・工業高校、専門学校を設置
	・語学の充実する教育。
	・中学生の島外流出を防ぐため、高校教育の充実。
	・高校の専門科の設置。
	・子どもの頃から対馬の良さを伝える取組。
	・人材育成。優秀な人材を日本社会に送り込む。
	・人材育成できる場。
	・後継者の育成。（家庭や地域や学校で、将来の対馬を担う後継者を

教育・人材育成	<p>育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街をつくるのは人なので、人づくりが最重要だと思う。
地域経済 雇 用	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が対馬で働ける場所（仕事）が出来るように今の時代厳しいと思うが、少しでもその方面に力を入れてもらいたい。若者が残ればいろいろと元気が出てくると思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・島外からも利用できる介護施設の拡充を図り雇用確保。
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本・韓国・中国の同心円の中心としての対馬をアピールして、韓国や中国の大学の一部（環境・日本語専攻等）の誘致などしたらどうか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・カジノホテル建設で雇用確保。
	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用数のある企業、職場の開拓。
	<ul style="list-style-type: none"> ・大企業（電子、車）の誘致。
	<ul style="list-style-type: none"> ・人口流出に歯止めをかけるため、大企業の誘致を考えると共に、大胆な発想をする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少が現状での大きな課題である。対馬の財産は、漁場と美しい海と山である。漁場の再生と観光資源の有効利用により雇用の場の創出を図ることが重要と考える。
	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場所の確保、雇用の促進にもっと市政に頑張ってもらいたい。定年退職後もっと働く意欲はあるが雇用する企業の不足、活力がない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の人達が対馬で仕事ができるようするべき。なぜ東京の人達をわざわざ住民票を移させてまで募集しているのか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場の提供。若者を外に出さない。出ても戻って来られる仕事が必要だと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が生まれ育った対馬で仕事し、生計が成り立つような魅力ある対馬。
	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が島内で暮らしていける仕事場の提供。
	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人々の働く場所。若者の結婚相手が少ない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・対馬には若者が安心して働く場所がないため、高校卒業すると外へでてしまう。もし対馬に働く場所があれば若者の力で対馬も明るく又子育てもできてくるのではないか。条例も大事だが若者の働く場所を先に考えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化はこの対馬では離島ということもありなかなか避けられないと思うが、限界集落になり、隣人の生活がわからず死亡等わからなかった、とはならないように、地域で住民・隣人同士との連絡をとりあわなければならないと思う。また、市民に関しても、行政だけに頼るのではなく、まず自分たちで起こすように考えてもらい、どうしても必要と感じる時に行政に報告連絡してもらいたいと思う。そうしないと、ただでさえ職員の人数が減り、仕事数が増えて忙しいのに、役所がただの「なんでも屋」になってしまう。 	

<p>地域経済 雇 用</p>	<p>・いろいろな事業に取り組む際に協力してくれる市民の方はだいたい何か他にもされている方が多いと思う。今現在、何もしていない方(という言い方は失礼ですが・・・)を取り込めるような、自分の意思で参加したいと思わせる何かわくわくするような仕掛けが必要な気がする。市役所職員にしても、仕事等余裕がなければ新しいことをはじめたり、発想する、ということが難しいと思う。</p>
<p>・市民基本条例よりもまずは、本土より対馬は仕事があると言われるよう市内での職を確保し市民の所得を増加させることが必要だと思う。</p>	
<p>・公共事業を盛んに行うことで若者が対馬で働く事ができ、それによって対馬の活性化に繋がるのではないかと心配している。今現在公共事業も少なく、スーパーなども次々と閉鎖されていく中で若者の働く場がなくなり、高齢者ばかりになってしまうのではないかと心配している。広報つしまを見て国境離島活性化特別委員会が設置されている事を知った。どうか是非若者の就労の場を見いだしていただきたい。地域の活性化に繋がるのはこれしかないと思う。</p>	
<p>・シルバー人材センターを作って、少しでも労働力を養い、賃金を支払えるような場があればいいと思う。</p>	
<p>・島内で働ける場所があれば良いと思います。アルバイトではなく、家族を養っていけるような就職先が少ないと思う。</p>	
<p>・人口減を止めて人口増につながるよう、廃校跡を企業誘致に活用することやコールセンター、福祉施設等に活用。</p>	
<p>・地元企業助成。</p>	
<p>・経済の活性化と都市と地方の文化格差の是正が必要。</p>	
<p>・経済を活性化する産業の育成。</p>	
<p>・入札等へ島外業者の禁止。島のお金を島内でまわす仕組みが必要。</p>	
<p>・対馬の現状を把握し、小さなことからコツコツと前向きに取り組む姿勢。対馬にお金が落ちる対策。</p>	
<p>・島内で購入できるものは、通販や島外での購入に頼らず、少々の割高でも島内の商店・事業所を利用するキャンペーンの実施。(特に生活安定の公務員は)</p>	
<p>・北部対馬の衰退が激しいので何とかしてもらいたい。</p>	
<p>・対馬以外からの外貨獲得。(島外からの資金流入)</p>	
<p>・対馬の未来への展望を考えた場合、最先端デジタル的な産業の創興が今まさに求められているのではないかとと思う。</p>	
<p>・第1次産業が対馬において主要な産業であるが、この衰退をしていくことへの対応・回復はなかなか難しいと思う。又、全ての産業において流通コストが対馬の基盤発展に影響しており、ここの無料化ができれば一番良いと思う。新たな離島振興法(国境離島でも良いが)の中で声を国に取り上げていただきたい。</p>	

地域経済 雇 用	・離島の消費税やガソリン税などを無税にしてもらい物価高を是正してもらいたい。
地域資源	・新しい産業を作る。対馬は鹿が多いので、鹿皮を加工し商品化する加工場を設けること。 ・間伐材の利用。（安価な組み立て式家屋）
第 1 次産業	<p>・第 1 次産業の振興（例 林業、水産業の分野におけるブランド化等 創意工夫。</p> <p>・第 1 次産業の市であるので、第 1 次産業の振興のための予算投入及び行政担当者の量的、質的向上を望む。</p> <p>・対馬島民の結束が必要又農業が衰退しているので、農業法人などの取組みを考え促進を図る。そうすれば対馬ヤマネコ問題もおのずと解決すると思う。</p> <p>・地域経済の活性化に繋がるのは農林水産業。</p> <p>・第 1 次産業では漁業の振興。林産ではチップ工場、製材業、燃料に活用。農業では無農薬による米づくり。椎茸のブランド化。</p> <p>・第 1 次産業の振興、藻場の再生。</p> <p>・市民が求めているのは市民が働く場所確保。そのためには生産。第 1 次産業（わかめ、しいたけ）</p> <p>・地場産業の充実に向けての取り組み、自然豊かな島でもっと 1 次産業が発展しても良いのではないかと。イノシシの駆除を含む。</p> <p>・子供に後をついで欲しいが無理な人と 1 次産業に従事したいが知識も道具もないと思ってる人が居ればそこに出会いの場があればよい方向に進むのではと思う。行政としてそのような出会いの場が提供できれば人の絆、雇用が生まれる可能性があるのではないかと。対馬のこの自然を生かす雇用の場所が必要だと思う。</p> <p>・第 1 次産業の維持、地産地消、雇用の創出、観光客への対応等を兼ねて市場を作ったらどうかと思う。中には食べさせる所もあり活気ある雰囲気、また現在 EM による畑作りも稼働中であり取れた作物を売ることも可能となる。</p> <p>・対馬に元気が出るためには第一次産業、特に水産業が元気が出るような施策を考えていかないといけないと思う。現状では漁連に丸投げ状態になっているように思えてならない。漁民、漁協職員はもとより行政も販路の拡大などに積極的に係わって行かなければいけないのではないか。</p> <p>・農家個別補償制度などを有効活用した稼ぐ仕組みを作ること。</p> <p>・農協はもっと勉強して、新しい野菜の発見をすべき。漁協は、先進地の視察によって新しい漁法を開拓すべき。</p> <p>・農家所得向上のために、現在の赤牛から黒牛への改革を市が積極的にしないと対馬の農地は、荒れ果てていくだけだと思う。市から農協へ指導ができないのか。</p>

第1次産業	・大型巻き網、底引き網の乱獲が一番の悩み。
	・大型巻き網などの漁の範囲を制限してほしい。
	・地場産品の積極的アピール。
	・農水産物に付加価値を付ける。
	・対馬に市場を作り海産物、農産物の販売。
	・農業、漁業、地産物のブランド化、販路を確保すること。
	・対馬の特産物を郵便等を利用し、売り込みができないか。
	・水産物の単価が安い。更に輸送コストがかかるのはわかるが。
観光・国際交流	・観光の振興。近年韓国からの観光客が増加し、それは対馬の経済にいくらかプラスにはたっているかと思う。しかし韓国からの観光客をターゲットに絞って観光振興するだけでなく、国内に向けての観光アピールももっと重視されるべきだと思う。一番効果的なのは航空代の低価格化なのだろうけど。難しいと思うが。
	・観光の振興とはよく聞くが韓国のお客様も大事に！！とも聞くが、その割に駐車場が少ない気がする。たくさんのバスが違反駐車している。事故も起こってからは遅いので、駐車場を確保したらどうか。市民も行政に文句を言うだけでなく、行政を理解することも大切だと思う。
	・観光客には交通費が高いため、割引制度があると良いと思う。
	・対馬に来なければ消費できない産品等の開発をすれば交流人口拡大に繋がる。
	・島民だけの収益だけでは限りがあるからせっかくの田舎町（海、山）を活用し、観光に力を注いでもらいたい。
	・観光、自然環境なども全国にPRすべき。観光に来たくてもお金がかかる。ガソリンや飛行機代は安くできないのか？
	・観光のおもてなしの心を大切にすることが重要。店員、タクシーの接客。
	・国内からの観光客に来てもらえるようPRに力をいれて欲しい。現在は韓国の人達がたくさんきている、来なくなると心配している。対馬を知らない国内の人達に対馬の良さを知ってもらいたい。
	・観光地として受入体制整備。
	・自然環境を守る事。海、山に行ったときゴミを自分で持って帰るとか意識して行動していけば、自然環境も良くなり第1次産業の振興、観光の振興に繋がる。
	・韓国資本導入。
	・韓国人の魚釣りをやめてほしい。
	・同じ離島、近い離島、ちいさな島の壱岐。それなのに話題、観光、認知度共に負けているのは何故かととても疑問に思う。他の島を見直す必要もあるのではないかと思う。
・韓国人観光客は必要ないと思う。	

観光・国際交流	・若い人の意見を積極的に取り入れる柔軟さと行動力と経済力があれば産業や観光が栄え、市全体が活性化すると思う。
	・観光をもっとPRして、対馬からの人口流出を防ぎ、若い人が働ける場所を作ってほしい。
	・観光に力を入れて島外からの客を集めて対馬を良くしていけば良いと思います。
	・韓国からの観光客に喜んでもらうことを実施。そのためにアンケートをとる。中国人観光客をターゲットにできないか。観光客が長期滞在できる仕組みづくり。
	・観光振興。景観、歴史を活かす。
	・韓国ブームによって一部コリアン通りを造って、日本人観光客を呼んだらどうか。
	・国外に目を向けると韓国経済圏に参入できる条件（歴史的、地理的）にあると思う。もっと外に目を向け、具体的政策のもと向けるべき。積極的な営業活動が必要。
	・観光客の誘致のために町にもっと土産店を増やし、海産物や菓子店など質の良い品を買って帰ってもらいたい。対馬の観光名所のトイレ掃除を徹底すること。
	・観光PR、TVラジオ活用。
	・韓国人マナー講座。
	・観光の為に道路、観光地整備、観光誘致、観光バスの無料化（観光施設から徴収）、観光者向け土産物店の経営。
	・韓国観光客の増大で交流人口も増え、少しではあるが観光産業は進展してきていると思う。韓国人のマナーの悪さはよく聞いているが、韓国人とのコミュニティを図るため、島民が韓国語を学び言葉の弊害をなくし、接することも必要だと思う。そこで、市内の小中学校から韓国語を学校で学び（ALTを活用）、子供から大人まで語学を習得することで韓国観光客との交流が広がり観光産業の発展に繋がっていくと思う。
	・韓国人の誘致活用。
・TVを見ていて思うが、長崎放送等でいつもCMをしている離島は「五島」や「壱岐」。もっともっと対馬のアピールが必要だと思う。対馬のなかで新たに利益を得ることは難しいと思うので、まず観光地としてどんどんアピールしたほうが良いと思う。これからを担う若者達は、今のままでは全く魅力を感じないと思う。他の離島をもっと学ぶべきではないか？	
・観光と第一次産業の融和が必要だと思う。また、観光などは特に目玉というか、アピールが少ないと思う。国境の島という事から対馬で韓国小旅行ができるとか、もっと対馬といたらコレ！目玉！っていうものが何なのかをアピールしてもいいと思う。また、市役所	

観光・国際交流	内も外部から民間のコンサルタントを招いて構造改革等を行えば、対馬市はもっとよくなると思う。
	・韓国と経済活動を行いたい企業（本社）の籍を対馬に置いてもらうこと。
	・基本条例は恐らく制定後もあってないようなものになると思うが、対馬市がもっと良くなるというよりも今より悪くならないためには、まず財源が必要だと思われるので、財源の確保として、対馬市で今最も「旬」な基幹産業である「旅館業」に課す税として宿泊税（一人100円）を新設し「外貨」の獲得に努める。一人100円徴収すれば、対馬市年間の観光客が37万人？（H19観光統計）で年間37,000千円の歳入の増加が見込まれ多様な用途に転用できる。地域主権を論じる上でその実現へ向けた自由な財源も必要になるので、基本条例の多様な目的（地域主権・住民自治等）に配慮できるよう「宿泊税」の新設を提案。
	・観光地としての環境整備、宣伝活動の方法の検討。たとえば、人の輪を利用して、対馬への旅を宣伝できないのかと思う。島外に出ている人でお店などをやっている人などに協力していただき、対馬の宣伝からはじめるところから進められないかと思う。
	・個人による対馬のPR活動・・・全市民対象（例）交流人口の拡大を図れるようなハガキ等を作成し、友人・知人等へ発送。※ 対馬を紹介し、訪問・帰郷等したくなるようなハガキ等
	・近年、韓国人の観光客が増え、マナーが悪いと言う市民もいるが、個人的には観光客が来てくれて嬉しい。買い物をする時に、従業員の接客態度が悪いと感じる店も多く、せっかく来てくれた観光客の方にもこのような態度を取っているかと思うと、対馬の印象を悪くするのではと心配している。韓国人観光客だけではなく、日本人観光客や韓国以外の観光客ももっと増えてくれればいいと思う。リピーターも大事。
	・もっと自然（海・山）をいかした観光に取り組む。
	・対馬の歴史を活かし観光振興。（ガイド育成も必要）
	・県外の人から見ると、対馬に行きたいと思わせるような宣伝ができていないようなので、対馬を知ってもらうために、もっと貪欲になって、宣伝をしていくこと。
	・島を離れた人との協力関係。地元の魅力を知り、広く知らせることにより観光の振興に繋がる。
	・景観、歴史を活かす。
	・行ってみたい島にする事。その為に客観的に見た島の魅力を理解し、活用するための広報、整備、調査が必要。エコツアー等対馬の自然や文化を活用しやすくするためのルールや環境づくり。

島外へのPR	・1人1人が対馬の良さを外へ発信する。1人1人が力を併せて地域のことを考えること（すみやすい町づくり）高齢化する中で地域を守る体制づくり。若者あるいは子どもらが島を大切にすることを育てる。
	・対馬の良い所をアピールする事。
	・すごくすばらしい。対馬をもっと他の県、全国にアピールしてほしい。
	・対馬市の情報を島外に発信する。
	・旧町の垣根を取り払い、それぞれの町がその町の資源（文化、財産）を再度見つめ直し、その資源を活用して、独特の地域性を創出し地域をまとめ、対馬島として島外に情報を発信していく。
	・対馬市の事をもっともっと国内国外に宣伝すること。
	・対馬のCMを作成し、都心でPRすること。
	・対馬市を全国にPRすること。私も頑張る。
	・一番必要なことは対馬の事を真剣に考える事だと思う。そのためには、今ある対馬の宝（資源や伝統）を守ることは当然のことだが、よりこの事をいろんな人たちに伝え、対馬の事をいろんな方法を使い宣伝すべきだと思う。（例えばツイッターなど、）
	・対馬の事をもっと広報して関心を持ってもらうことが必要だと思う。
自然環境	・年1回の清掃を2から3回実施してはどうか。
	・対馬の自然環境や生き物を守る。
	・自然環境を守る事。海、山に行ったときゴミを自分で持って帰るとか意識して行動していけば、自然環境も良くなり第1次産業の振興、観光の振興に繋がる。下水道の処理施設も大切なのではないかと思う。
	・自然を活かした事業イベント等に取り組んだらどうか。
	・自然環境を守っていくこと。
	・自然破壊をしないこと。昔に戻る事。農業漁業に取り組むこと。
	・農業・漁業が反映するため、対馬の自然を守っていく必要がある。
	・対馬の良さを保護し、活かす。（自然文化歴史）
	・対馬は自然がとても大事だと思うし、そこが誇れる所である。
	・自然は宝。守って活性化に繋げて欲しい。
	・対馬の美しい環境を守る。
	・美しい自然をベースにつつましく暮らしていくこと。
	・漁民の藻場再生に力を入れる。
	・水産業振興のために海洋保全策→生態系の確保。
	・大陸系動植物の保全。
	・山の木の伐採制限（海に土が流れれば海の中が汚れわかめカジメが育たない）

自然環境	・海を良くするために山を大事にする。
	・ゴミの問題。
交通	・巖原から比田勝までの国道整備。
	・道路の整備、道路沿いの木の伐採。
	・海上交通の福岡市までの時間短縮と運賃値下げ。
	・対馬北部の博多～比田勝間のフェリースピード改善。
	・空、海の利用便の数を増やし、海上運搬に際しては軽量高速船の導入を。
	・ジェットfoilが来るようしてもらいたい。
	・交通機関の運賃値下げ。
	・交通アクセスの整備、対馬の魅力の発信。
	・交通の整備、欠航をなくす。
	・本土の交通費に対する補助。
	・航路空路運賃の低廉化。
	・島外の人にも対馬の良さを理解してもらおうべき町づくりの強化。交通面とかそれを改善してほしい。
	・船舶、航空運賃値下げが必要。
	・交通運賃の低廉化。便数確保。
	・道路網の整備。車の無い人への交通手段。
	・まずは安心して働ける場所の確保が一番だと思う。本土からの交通手段の単価を下げた気軽に行き来できる環境をつくること。
	・フェリー等車両移送運賃の割引。
・国の政策を転換して、離島の飛行機、船の料金を引き下げるようにするべき。	
・船などの欠航を防災無線などで教えてほしい。	
条例について	・市民基本条例は不要ではないか。
	・協働、協働というが、半強制的なものではなく、市民が参加したい時に自由に参加できるような条例を作るべき。
	・みんなのルールとして、住民＝島民の基本部分に道徳規範の文言を盛り込む前文としていただきたい。
	・これまでの行政に関し、巖原市街の住民及び商工会を中心とした事業が多く田舎はさびれていると感じている各地区民の声をよく聞く。中心地住民とそれ以外の住民生活の格差を感じさせないよう、各地区住民(この人達も対馬市民)が生きがいのある「地域づくり」・「まちづくり」のルールが必要ではないかと思う。
	・今回のアンケート調査について、対馬の人口は子どもから大人まで35,522人であり、本調査では、18歳以上2,000人無作為抽出で実施されているが「みんなのルール」づくりを進めるためには予算面のこともあると思うが、もっと多くの市民の意見を聞くため調査対象人数を増加した方が良いと思う。

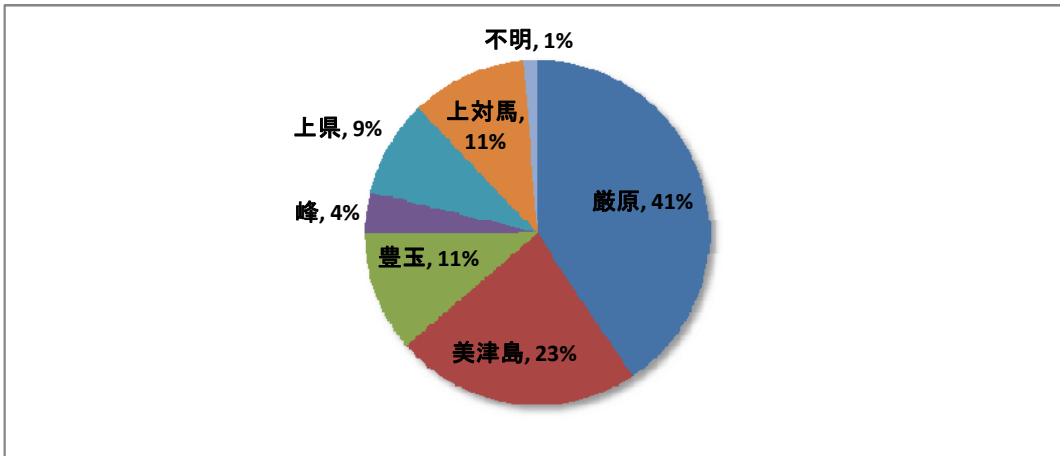
その他	・電気料金の値下げ。
	・国の事業を対馬に受け入れて欲しい。
	・自衛隊 or 米軍の配備増強。
	・町村合併に伴う住民不安の解消。
	・島外に住んでいる対馬出身者の知恵や協力を得る。
	・各家庭に設置されている放送施設が意外と効を奏していない。
	・「ひとり勝ち」ではなく、みんなで儲けようという事業者の意識。 投資抑制等のための共同事業化。（〇〇会社、対馬市）
	・考え型の転換、個の利益中心から対馬の利益中心へ。
	・核燃料処分施設の誘致など。
	・地元の良さを発信アピールして広がって行っても経済に早急なはね返りはなく、時間がかかるため、国県の特例の予算を取り込み対馬独特の国境警備を最重点に。今近隣の国が領土、海域問題によるトラブルが起きているし領土を守る事によりそれなりに交流人口も増加し、経済の浮揚にも繋がるのでは！！国土を守る国境特区と言った言葉は言い替えは色々あるだろうが、広く全国に宣伝してもらい、何とか活力ある島にしてもらいたい。
	・過去（昭和30年頃？）、「対馬」において転県運動（長崎県→福岡県）が行われたと聞いたことがあります。経済・医療面を鑑みた時、本市が「福岡県」になれば、様々な点で市民にとってメリットが出て来るのは必然で、これを市民主導で行い、転県が実現すれば、本市はもっと良くなると思う。

高校生アンケート調査結果

(仮称)対馬市市民基本条例検討に関するアンケート調査集計表(高校生)790通

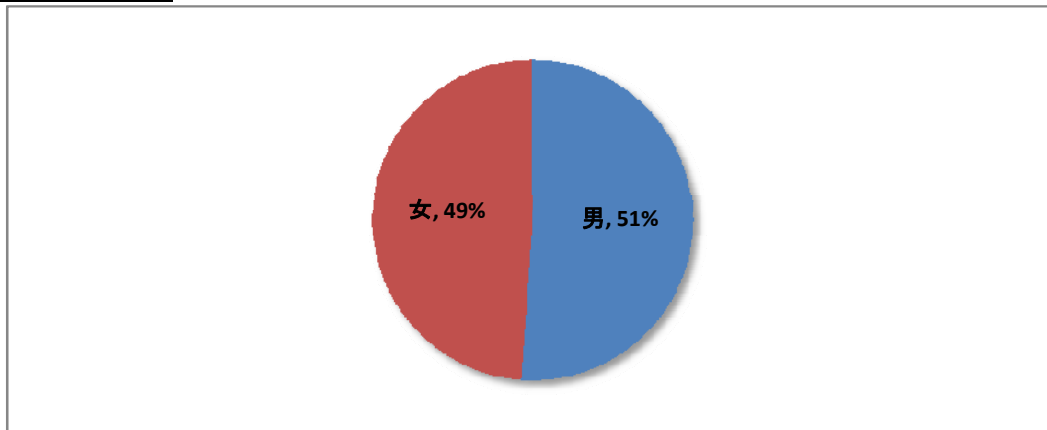
町別

厳原	美津島	豊玉	峰	上県	上対馬	不明
41%	23%	11%	4%	9%	11%	1%



性別

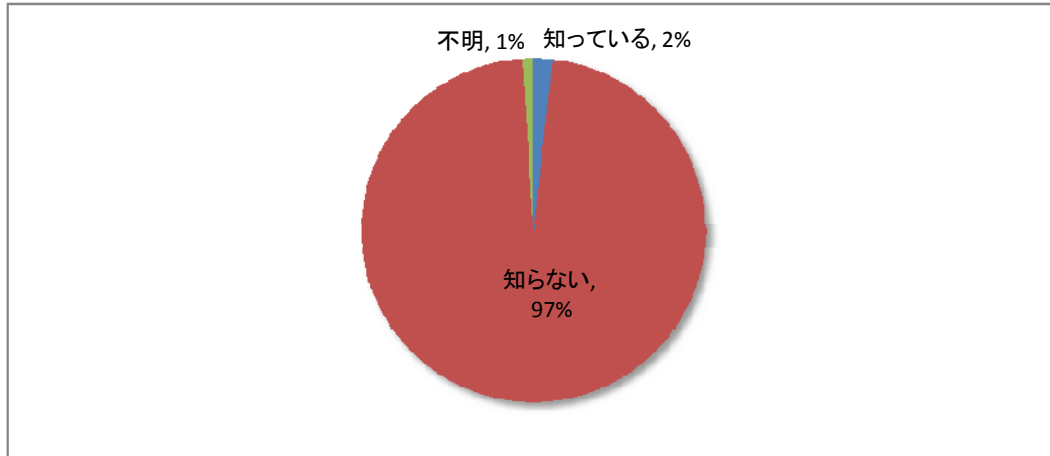
男	女
51%	49%



問 1
あなたは、対馬市において（仮称）対馬市市民基本条例の制定に向けて取り組んでいることを知っていますか？

〇知っている方が2%、知らない方が97%とほとんどの学生が知らないという結果になっています。これからの対馬市を担っていく若い世代の意見は大変重要です。今後も高校へ定期的に情報発信しながら、高校生の意見反映した条例づくりを進めていく必要があります。

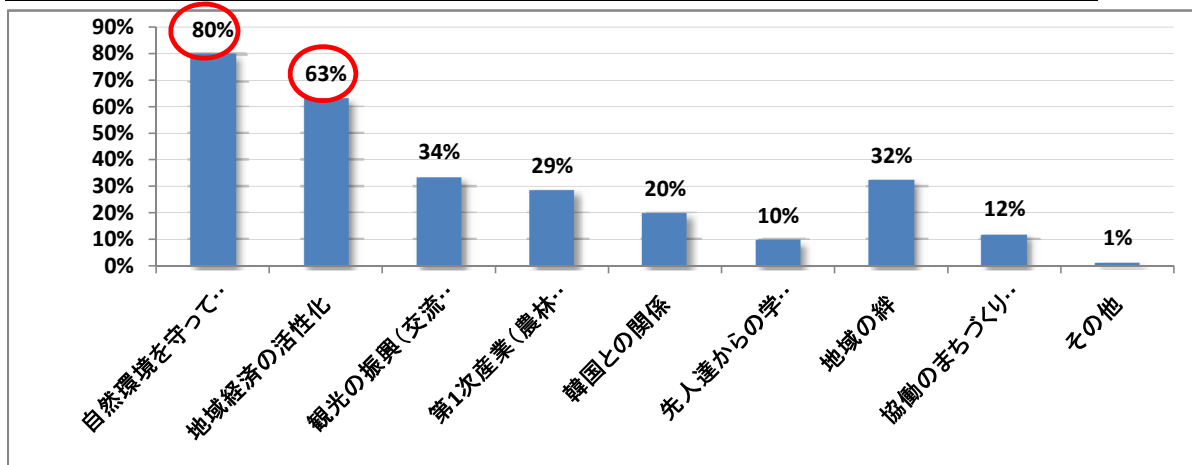
知っている	知らない	不明
2%	97%	1%



問 2
あなたは、これからの対馬のために大切にしたいことは、どんなことだと思いますか？
(複数回答可)

〇自然環境を守っていくことが80%と一番高く、次いで地域経済の活性化が63%、観光の振興が34%、地域の絆が32%、第1次産業の振興が29%、韓国との関係が20%、協働のまちづくりが12%、先人達からの学びが10%となっています。

自然環境を守っていくこと	地域経済の活性化	観光の振興（交流人口拡大）	第1次産業（農林水産業）の振興	韓国との関係	先人達からの学び（雨森 芳洲先生・陶山 訥庵先生）	地域の絆	協働のまちづくりの推進（地域マネージャー制度）	その他
80%	63%	34%	29%	20%	10%	32%	12%	1%



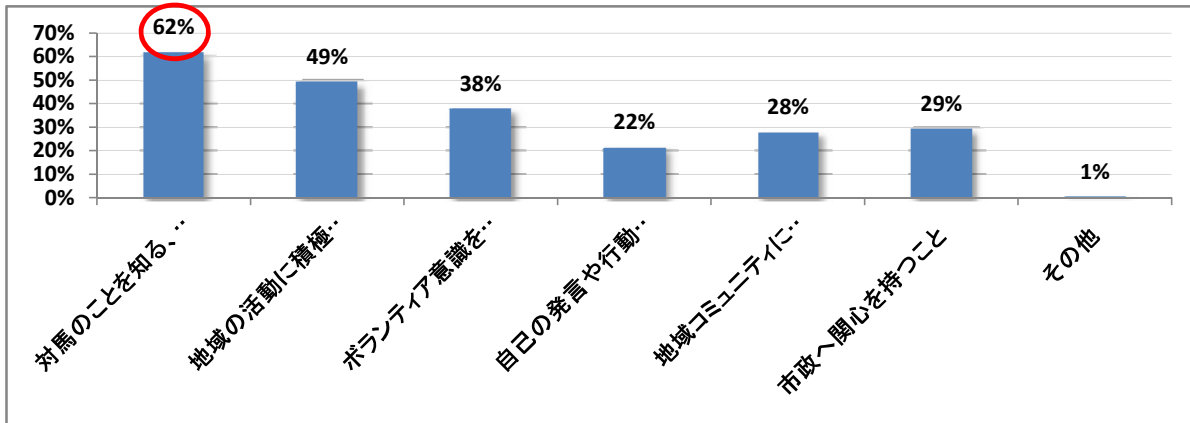
その他の意見
1. 伝統文化を大切にすること
2. 学校へ行くためのバス

問 3

あなたは、市民が主役のまちづくりを進めていくため自分自身に何が重要だと思いますか？
(複数回答可)

〇対馬のことを知る、好きになることが62%と一番高く、次いで地域の活動に積極的に参加することが49%、ボランティア意識を持つことが38%、市政へ関心を持つことが29%、地域コミュニティに積極的に参加することが28%、自己の発言や行動に責任を持つことが22%となっています。

対馬のことを知る、好きになること	地域の活動に積極的に参加すること	ボランティア意識を持つこと	自己の発言や行動に責任を持つこと	地域コミュニティに積極的に参加すること	市政へ関心を持つこと	その他
62%	49%	38%	22%	28%	29%	1%



その他の意見

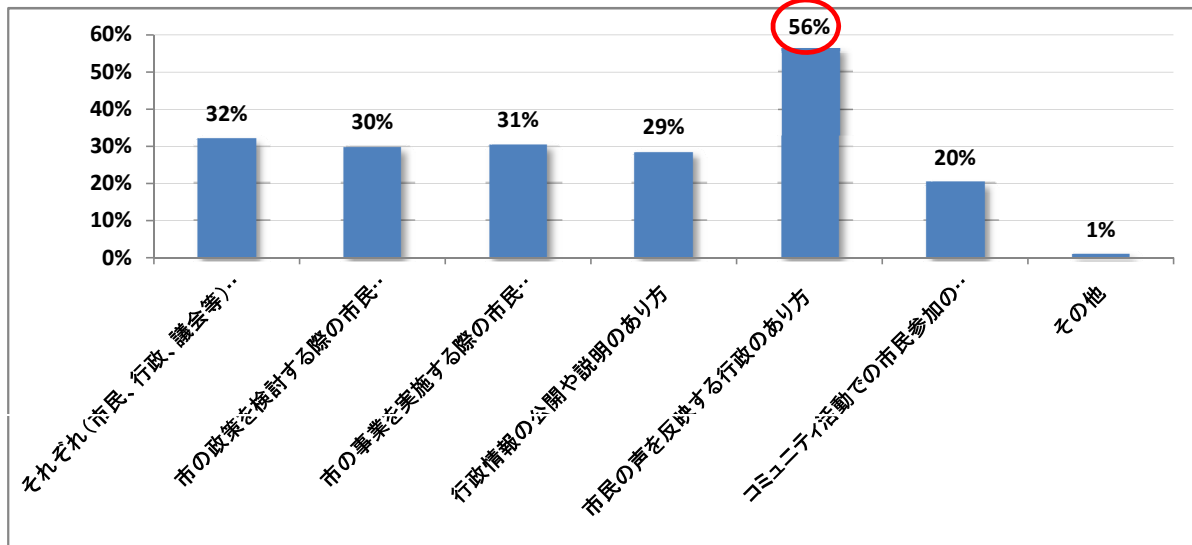
1. 地域での人々の関係をより深くすること
2. あいさつをすること
3. 町をきれいにすること

問 4

あなたは市民が主役のまちづくりを進めていくために、どのような事柄を検討すべきだと思いますか？（複数回答可）

○市民の声を反映する行政のあり方が56%と一番高く、次いでそれぞれ（市民、行政、議会等）の役割や責務についてが32%、市の事業を実施する際の市民参加のあり方が31%、市の政策を検討する際の市民参加のあり方が30%、行政情報の公開や説明のあり方が29%、コミュニティ活動での市民参加のあり方が20%となっています。

それぞれ（市民、行政、議会等）の役割や責務について	市の政策を検討する際の市民参加のあり方	市の事業を実施する際の市民参加のあり方	行政情報の公開や説明のあり方	市民の声を反映する行政のあり方	コミュニティ活動での市民参加のあり方	その他
32%	30%	31%	29%	56%	20%	1%



その他の意見

1. 市長、市議のあり方
2. 様々な年齢層の意見を聞き、反映させること

問 5

あなたは対馬市がもっと良くなるためにどんなことが必要だと思いますか？（抜粋意見）

市 民	・市民1人1人の絆。
	・市民がもっと対馬に関心を持つこと。
	・市民が1つになっていろんなことに取り組むこと。
	・市民がもっと行政に興味を持つこと。
	・地域の方が協力しあう事。
	・地域がもっと仲良くなる。対馬の良さをみんなが知る。
	・元気なあいさつ。努力すること。1人1人の笑顔。
	・1人1人が対馬を良くしようという意識。
	・マナーの改善。
	・相手の事を思いやって行動する。
	・大人がしっかりする。
	・身の回りをしっかりみる。
	・対馬の魅力を増やす。対馬を好きになる。
	・対馬のことをもっと知り、興味をもつ。
	・対馬をもっと好きになること。
	・みんなが対馬を大切に思うこと。
	・1人1人が対馬にもっと関心を持つこと。
・対馬を心から愛す。	
・対馬を良くしようという気持ち。	
議 員	・年寄りの議員ばかりではダメ。
行政運営	・無駄な経費の削減。
	・無駄な施設を建てない。
	・無駄な事にお金をかけない。
	・道路の舗装などではなく、もっと必要な使うべき所へお金を使う。
	・市の借金をなくすように無駄な事業を行わず、借金を返すお金にあてる。
	・借金をまず減らす。
	・対馬は借金がとても多いと聞いたが、少しずつ返したほうがよいと思う。会議だけして先に延ばしにならないようにしてほしい。
	・予算を増やす。
	・市民の意見を積極的に取り入れ、反映するまでの時間も早急にし、効果や影響がすぐ出るようにした方がよい。
	・市民の声を反映させる。
	・市民の意見を聞きそれを実行する。
	・市民の希望に応える。
・韓国人観光客がもたらす利益に甘んじることなく、他から批判覚悟の上で大きな事をやるべき。	
市民参加	・市民の意見を聞いて、市民が何にでも参加することが必要。

市民参加	・地域行事に多くの人々が積極的に参加して、協力することで市民の団結力を高める。
	・地域の活動などに対し、積極的に取り組むこと。
	・地域への行事に参加し、地域の絆を深くすること。
	・地域の人との交流を深める。
	・地域の活動に積極的に参加する。
	・ボランティア活動を増やす。
	・ボランティア活動などに積極的に取り組み、いろいろな人と交流を深める。
	・ボランティア活動をしたり、環境を今以上に良くして自然をもっと大切にすること。ゴミをすてないような工夫をすること。
	・大きな行事など開き、それにみんな参加することができるようにすること。
	・市一体で活動を行う。プロミュージシャンなどの演奏会。
情報共有	・市民が主役であるならば情報公開のやり方など市民がわかるような説明をすべき。今の市政には期待していない。
	・ケーブルテレビでの市議会をパワーポイントをつかって放送してほしい。
	・市報の内容をより充実したものにすること。
	・行政状況を知ること。
	・対馬全体の情報公開。
まちづくり	・都市開発。
	・良い町づくり。
	・映画館をつかってほしい。
	・公共施設や公園の整備。
	・地域環境をよくし住みよい町づくり。
	・ティアラのような大型ショッピングセンターをもっとつくる。
	・福岡への橋をつくる。
	・無駄な建物、無駄遣いをしない。
	・下対馬の方ばかり栄えすぎ。上対馬のことも考えて欲しい。全島平等でない。
	・もう少し娯楽施設を学校や会社から歩いて行ける範囲につくる。
	・対馬は冬になると風が強いので、風力発電を置いた方がいい。
	・大きい店を建てる。
	・有名な店をオープンし人口増加を考える。
	・新しい大型の店を建てる。
	・もっと遊ぶところを増やす。有名な店を対馬にも。
・経済の活性化が高まるような店を作る。	
・書店を増やす。	
・お店を遅くまであける。	

まちづくり	・もっと若者の店を取り入れて欲しい。
	・巖原以外にも色々な店があってほしい。
	・巖原の町にお店をもっと増やす。
	・24 時間営業コンビニ。
	・遊ぶ場所や憩いの場がほしい。
	・活気がない。今の対馬には住みたいと思わない。もっとちゃんとしてほしい。
住みやすい・安心・安全なまちづくり	・病院の充実。
	・医療施設や医師を増やす。財源を有効活用する。
	・福祉事業。
	・老人ホームの増加。
	・高齢者の施設を増やすこと。
	・お年寄りや小さい子どものことをもっと考えた方がよい。
	・便利な町づくりに努める。
	・街灯を増やした方がいい。工事とか中途半端にしない方がいい。
教育・人材育成	・看護系の高校をつくる。
	・大学をつくる。
	・学校を増やす。
	・高校を増やす。
地域経済・雇用	・雇用、就職先を増やす。
	・島外に出る人が多いので、雇用をもう少し拡大してほしい。
	・対馬で若い人が働けるように仕事を増やす。
	・対馬に残って仕事をしたいと思っても、求人が少ないため島外にでる若者が増えていると思うのでもっと求人を増やすべき。
	・働く場所を増やすこと。第 1 次産業を中心に増やすこと。
	・企業をおこす。
	・若者が働きやすい生活しやすい環境づくりが必要。
	・経済の活性化。
	・対馬の経済がこれ以上低下しないようにしていく。
・経済の回復。	
地域資源	・山にある使われていない木を使う。
	・具体的なものはないが、全国的に見ても、対馬だけしかないような活動や特産物、それもインパクトのあるものがあれば注目されると思う。
第 1 次産業	・第 1 次産業の振興。
	・漁師への補助。
	・農林や水産を中心とした対馬を発展させること。
自然環境	・自然環境を守っていくこと。対馬ヤマネコは年々数が減っているの で、これ以上数を減らさないようにすることだと思います。
	・1 人 1 人がもっと環境問題などについて知り、それに対する取組みが

自然環境	必要。
	・環境を守る事。
	・環境をきれいにする。
	・自然を壊さない。
	・自然を守ること。
	・自然がきれいなので長所を活かす。
	・自然を活かす。
	・自然が豊かだから自然を大切にすること。
	・自然がきれいだからゴミなど捨てない。
	・自然を守り抜き、観光客が訪れて楽しい施設を建てる。
	・自然に興味を持つこと。
	・むやみに開発せず、限りある自然を守っていくこと。
	・自然を大切にしていかにゴミを捨てないこと。
	・ゴミ投棄の問題。
	・地域のゴミひろい。
	・ゴミを減らす。
	・海岸ゴミ拾いをもっと拡大して行って海をもっときれいにしてほしい。地域のゴミ拾いの回数を増やしてほしい。
	・ゴミのことはみんなで連携して取り組んだらどうか。
	・海をきれにする。
	・地域清掃を増やす。
	・ポイ捨てをなくす。
	・空き缶拾い。
	・海をきれにする。
・対馬ヤマネコが減少しているので、自然を大切にしたい。	
・対馬ヤマネコを守ること。川をきれにする。	
・対馬の動物をもっと大切に保護する。	
観光・国際交流	・韓国からの観光客を大事にする。
	・韓国との関係を良くする。
	・韓国人観光客を増やす。
	・韓国との繋がりを強める。交通機関の充実。
	・韓国との交流はよいが、ゴミや交通への配慮も考えて欲しい。
	・韓国相手の商売。
	・観光客などのマナーの悪さ。特に韓国人は悪い。
	・国内で対馬市観光ツアーを企画する。
	・対馬のことをPR。歴史観光名所をインターネットやテレビでPRし、観光客がたくさん来て経済発展に繋げる。
	・観光名所になるような場所。店の数を増やす。
	・対馬の良いところをもっとアピールする。
	・観光スポットを増やす。

観光・国際交流	・あれた土地をきれいにする。もっと韓国人観光客に対する配慮。
	・対馬に人が集まってくるようなことをする。
	・観光物産振興、韓国人観光客のマナー向上。
島外へのPR	・対馬独自の産業をもっとPRして大切にす。
	・対馬の良いところを島外にPRする。
	・とんちゃん部隊のような対馬の宣伝になることを増やす。
	・たくさんの人達に対馬を知ってもらうこと。
	・他の県の対馬を知らない人に対馬のことを知ってもらう。
	・対馬の見所をたくさんの人に知ってもらう。
交 通	・バスを増やす。無料にする。
	・交通バスを多く出してほしい。
	・バス料金、タクシー料金の値下げ。
	・交通手段の利便性。
	・フェリーの便数を増やすこと。
	・道路をもっときれいにする。
	・道路整備促進。
そ の 他	・成人式は厳原で。
	・アメリカ軍基地を対馬に。
	・長崎県→福岡県に移転する。

